

**This Page Is Inserted by IFW Operations
and is not a part of the Official Record**

BEST AVAILABLE IMAGES

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images may include (but are not limited to):

- **BLACK BORDERS**
- **TEXT CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES**
- **FADED TEXT**
- **ILLEGIBLE TEXT**
- **SKEWED/SLANTED IMAGES**
- **COLORED PHOTOS**
- **BLACK OR VERY BLACK AND WHITE DARK PHOTOS**
- **GRAY SCALE DOCUMENTS**

IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.

**As rescanning documents *will not* correct images,
please do not report the images to the
Image Problems Mailbox.**

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 08-044755

(43)Date of publication of application : 16.02.1996

(51)Int.Cl.

G06F 17/30

(21)Application number : 06-174332

(71)Applicant : BROTHER IND LTD

(22)Date of filing : 26.07.1994

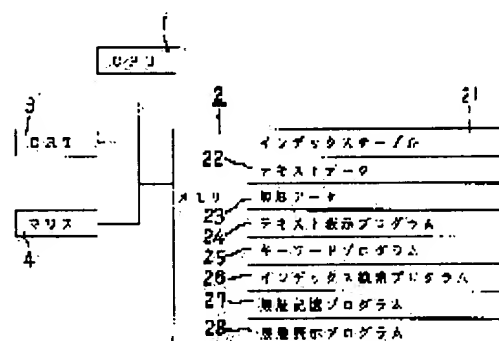
(72)Inventor : KAWAGUCHI TAKESHI

(54) ELECTRONIC MANUAL

(57)Abstract:

PURPOSE: To immediately know what is originally referred to even when repeating operation for referring to the meaning of another key word over a look at the explanation for one key word.

CONSTITUTION: When a key word selection program 25 selects a key word in a text, an index retrieval program 26 retrieves an index table with the key word and sets the position in the text that the key word is linked with to a display pointer, and a text display program 24 displays the text from the position indicated with the display pointer on a CRT 3. At this time, a history storage program 27 additionally stores the selected key word in a history data table 23 and when a request to display the history is made, a history display program 28 displays the history data on the CRT 3.



LEGAL STATUS

[Date of request for examination] 29.03.2000

[Date of sending the examiner's decision of rejection] 17.12.2002

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or

application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's
decision of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's
decision of rejection]

[Date of extinction of right]

Copyright (C); 1998,2003 Japan Patent Office

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開平8-44755

(43) 公開日 平成8年(1996)2月16日

(51) Int.Cl.⁶

G 0 6 F 17/30

識別記号

庁内整理番号

F I

技術表示箇所

9194-5L

G 0 6 F 15/ 419

3 2 0

9194-5L

15/ 403

3 8 0 D

審査請求 未請求 請求項の数1 O L (全 4 頁)

(21) 出願番号

特願平6-174332

(22) 出願日

平成6年(1994)7月26日

(71) 出願人 000005267

ブラザー工業株式会社

愛知県名古屋市瑞穂区苗代町15番1号

(72) 発明者 川口 猛

名古屋市瑞穂区苗代町15番1号ブラザー工業株式会社内

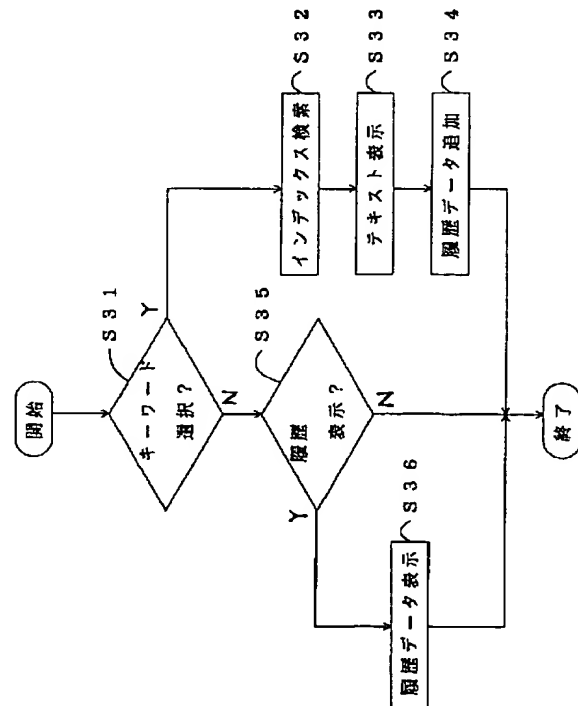
(54) 【発明の名称】 電子マニュアル

(57) 【要約】

(修正有)

【目的】 キーワードの説明を見ている途中で、別のキーワードの意味を調べるというような操作を繰り返しても、もともと何を調べていたのかが即座に分かるようにする。

【構成】 テキスト中のキーワードがキーワード選択プログラム25によって選択されれば、インデックス検索プログラム26がインデックステーブルをキーワードで検索し、キーワードがリンクするテキストの位置を表示ポインタにセットし、テキスト表示プログラム24が表示ポインタで示された位置からのテキストをCRT3に表示する。この際、履歴記憶プログラム27が選択したキーワードを履歴データテーブル23に追加して記憶し、履歴の表示が要求された場合、履歴表示プログラム28によって履歴データがCRT3に表示される。



【特許請求の範囲】

【請求項 1】 表示ポイントが示す位置からのテキストを表示手段に表示させるテキスト表示制御手段と、前記テキスト表示制御手段によって表示手段に表示されたテキストからキーワードを選択するキーワード選択手段と、前記キーワード選択手段によって選択されたキーワードがリンクするテキストの位置を表示ポイントに設定するインデックス検索手段とを備えた電子マニュアルにおいて、

前記キーワード選択手段で選択されたキーワードの履歴を記憶する履歴記憶手段と、

前記履歴記憶手段の記憶内容を前記表示手段に表示させる履歴表示制御手段とを備えたことを特徴とする電子マニュアル。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【産業上の利用分野】 本発明は、電子マニュアルに関し、特に、ハイパーテキスト構造の電子マニュアルに関するものである。

【0002】

【従来の技術】 従来、この種のハイパーテキスト構造の電子マニュアルにおいて、テキスト中の主なキーワードには、そのキーワードを説明するテキストへのリンクが組込まれている。そのため、マニュアルを調べている途中でわからないキーワードが現れたら、簡単な操作でそのキーワードの説明を見ることができる。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】 しかしながら、キーワードの説明を見ている途中で、その説明中の別のキーワードの意味を調べるというような操作を繰り返すと、もともと何を調べていたのかわからなくなることがあるという問題点があった。

【0004】 本発明は、上述した問題点を解決するためになされたものであり、キーワードの説明を見ている途中で、その説明中の別のキーワードの意味を調べるというような操作を繰り返しても、もともと何を調べていたのかが即座に分かるようにした電子マニュアルを提供することを目的とする。

【0005】

【課題を解決するための手段】 この目的を達成するために本発明は、表示ポイントが示す位置からのテキストを表示手段に表示させるテキスト表示制御手段と、前記テキスト表示制御手段によって表示手段に表示されたテキストからキーワードを選択するキーワード選択手段と、前記キーワード選択手段によって選択されたキーワードがリンクするテキストの位置を表示ポイントに設定するインデックス検索手段とを備えた電子マニュアルにおいて、前記キーワード選択手段で選択されたキーワードの履歴を記憶する履歴記憶手段と、前記履歴記憶手段の記憶内容を前記表示手段に表示させる履歴表示制御手段と

を備えている。

【0006】

【作用】 前記の構成を有する本発明の電子マニュアルによれば、テキスト表示制御手段は、表示ポイントが示す位置からのテキストを表示手段に表示させ、キーワード選択手段は、前記テキスト表示制御手段に基づいて表示手段に表示されたテキストからキーワードを選択し、インデックス検索手段は、前記キーワード選択手段によって選択されたキーワードがリンクするテキストの位置を表示ポイントに設定し、履歴記憶手段は、前記キーワード選択手段によって選択されたキーワードの履歴を記憶し、履歴表示制御手段は、前記履歴記憶手段の記憶内容を表示手段に表示させる。

【0007】

【実施例】 以下に、本発明を具体化した一実施例を図面を参照して説明する。

【0008】 図 1 は本実施例による電子マニュアルの全体構成をブロック図によって示している。本装置は、全体を制御する制御手段としての CPU 1 と、メモリ 2 と、テキスト等をを表示する表示手段としての CRT 3 と、テキスト中のキーワード選択等に用いるマウス 4 とからなる。メモリ 2 はデータ領域とプログラム領域とからなる。データ領域は、インデックステーブル 2 1 と、テキストデータテーブル 2 2 と、履歴データテーブル（履歴記憶手段） 2 3 とを含み、プログラム領域はテキスト表示プログラム 2 4 と、キーワード選択プログラム 2 5 と、インデックス検索プログラム 2 6 と、履歴記憶プログラム 2 7 と、履歴表示プログラム 2 8 とを含む。

【0009】 ここで、データ領域に記憶される各データの説明をする。インデックステーブルは、キーワード名と、各キーワードを説明する項目へのポイントとを要素とするテーブルである。テキストデータはテキストを表わす文字コードと、テキスト中のキーワードを識別するキーワード識別子とを含む。

【0010】 次に、本実施例の電子マニュアルにおけるキーワード関係の機能の処理の流れを図 3 のフローチャートにより説明する。

【0011】 ある項目のテキストがテキスト表示プログラム 2 4 によって既に表示されているものとする。テキスト中のキーワード K がキーワード選択プログラム 2 5 によって選択されるか否かを調べる（S 3 1、S はステップを示す。以下同様）。もし、選択されれば（S 3 1、Y）、インデックス検索プログラム 2 6 はインデックステーブルをキーワード K で検索し、キーワード K を説明する項目の位置を表示ポイントにセットし（S 3 2）、そして、テキスト表示プログラム 2 4 は表示ポイントで示された位置からのテキストを CRT 3 に表示し（S 3 3）、履歴記憶プログラム 2 7 は選択したキーワード K を履歴データテーブル 2 3 に追加して記憶する（S 3 4）。なお、前記 S 3 1 の処理工程は、本発明の

3

キーワード選択手段として機能し、前記S 3 2の処理工程は、本発明のインデックス検索手段として機能し、前記S 3 3の処理工程は、本発明のテキスト表示手段として機能し、さらに、前記S 3 4の処理工程は、本発明の履歴記憶手段として機能する。

【0012】 処で、キーワードKが選択されずに（S 3 1、N）、履歴の表示か否かが調べられ（S 3 5）、もし、履歴の表示が要求された場合（S 3 5、Y）、履歴表示プログラム 2 8によって履歴データがC R T 3に表示され（S 3 6）、現在表示しているテキストの位置 10

がわかる。以上が、キーワード関係の機能の処理の流れの説明である。なお、前記S 3 6の処理工程は、本発明の履歴表示制御手段として機能する。
【0013】 図2は表示される履歴データの形式を説明する図である。各行の字下げは項目の階層を表わし、キーワードAの項目を読んでいる途中ではキーワードBとキーワードCの項目を参照しており、さらに、キーワードCの項目を読んでいる途中でキーワードC 1の項目を参照したことを表わしている。ブロックカーソルは表示テキストの現在の階層を示しており、ここでは現在の表示位置がキーワードAの項目であることを表わしている。

【0014】 なお、前記の実施例における履歴データの表示（S 3 6）の後で、履歴データとして表示されたキーワードを選択するステップを追加し、そのキーワードを説明する項目に表示を移動するようにしてもよい。

【0015】 また、インデックステーブルの要素として、例えば、各キーワードがテキスト中に出現する位置

4

へのポインタを含めることもできる。この場合、キーワードを説明する項目の参照だけでなく、そのキーワードが引用される項目の参照も可能となる。

【0016】

【発明の効果】 以上説明したことから明らかなように、本発明の電子マニュアルによれば、キーワード選択の履歴を表示することができるので、キーワードの説明を見ている途中で、その説明中の別のキーワードの意味を調べるといような操作を繰り返しても、もともと何を調べていたのかが即座に分かる。

【図面の簡単な説明】

【図1】 本実施例の電子マニュアルの全体構成を示すブロック図である。

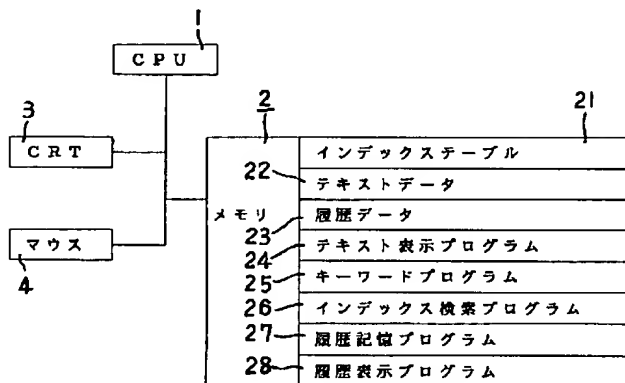
【図2】 履歴データの形式を説明する図である

【図3】 キーワード関係の機能の処理の流れを説明するフローチャートである。

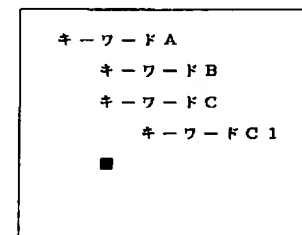
【符号の説明】

- 1 CPU
- 2 メモリ
- 3 CRT
- 4 マウス
- 21 インデックステーブル
- 22 テキストデータ
- 23 履歴データ
- 24 テキスト表示プログラム
- 25 キーワードプログラム
- 26 インデックス検索プログラム
- 27 履歴記憶プログラム
- 28 履歴表示プログラム

【図1】



【図2】



【図 3】

